



自然栽培の大豆で作ったポン菓子



「能登まいもん一家」に新たな仲間 自然栽培大豆のポン菓子

先月号で「能登まいもん一家」として「紅はるかチップス」を紹介しましたが、このたび、新たな仲間が加わりました。

羽咋市が推進する自然栽培農法(無農薬・無肥料・無除草剤)で育てた大豆をポン菓子機にかけて作りました。カリッとした食感と、大豆の香ばしい風味が口いっぱいに広がり、食べだしたら止まらなくなる一品です。

この他にも、続々と新商品を開発していく予定です。羽咋市へお越しの際には、ぜひ道の駅のと千里浜に立ち寄り、「能登まいもん一家」シリーズを探してみてください。

教えて！消費生活

新型コロナウイルスに便乗した悪質商法に注意！

Q スマートフォンに「新型コロナウイルスによる肺炎が広がっている問題でマスクを無料送付する。確認をお願いします」と記載され、URLが付いたショートメッセージが届いた。マスクが不足しているので欲しいと思うが、怪しいのではないか。このまま無視したほうが良いのか。

A マスクの入手が困難な状況に便乗し「マスクを無料で送付する」とマスクの供給に関する情報と見せかけたショートメッセージを悪用し、記載されたURLのリンクをタップさせる手口とされます。

URLにアクセスするとフィッシングサイトに誘導され、スマートフォンに不正なアプリがインストールされたり、個人情報を取得されたりする可能性があります。

心当たりのない不審な送信元からメールなどが届いた場合、メールに記載されたURLには絶対にアクセスしないようにしましょう。また、実在する事業者名などが記載されていた場合でも、事業者のホームページなどで確認しましょう。

消費生活の相談は市消費生活センター ☎fax 兼用 201133 (来庁相談要予約) 相談時間 平日午前9時～午後4時

ふじおか Culture
～藤岡の文化を探る～
No.50
【問い合わせ 文化財保護課 (☎235997)】

せんぶくようとう 千部供養塔 ～供養塔が語る浅間山大噴火～

緑埜地区にある市指定重要文化財「千部供養塔」は天明3年(1783年)の浅間山大噴火から9年後の寛政4年(1792年)3月、所領旗本松平家の代官、齊藤八十衛門が建てたものです。

この大噴火は「浅間焼け」と呼ばれる浅間火山史最大の噴火です。碑文によると天明3年7月5日から浅間山が焼け立ち砂が降り始め、7日正午ごろに赤灰が降り、午後2時ごろには泥まで降りました。瞬時に闇夜ようになり、雷が激しく震動して、火石を吹き出す音は家の戸や障子にまで鳴り渡り、大雨のように降る砂は8日の朝が来ててもやまず、午前10時ごろようやく少し晴れたということです。降った火山灰などは一面に耕作地を埋めてしまい、火砕流は吾妻川に押し出し川の高さは15～30m上昇して延長156km余り全てを押し流しました。降灰による凶作で諸物価が暴騰したことなども供養塔に

記されています。この噴火は県下で1,400人を超す犠牲者を出した大災害となり「天明の大飢饉」の引き金となりました。藤岡においても火山灰は10～30cmほど積もったと記され、譲原・保美・本郷などでも農作物の被害は甚大だったということです。

「千部」とは「供養のため千人の僧が同じ経を一部ずつ読む」ことをいいます。現代同様、古来から人々は災害や予期せぬ事態に苦悩してきましたが、その都度時間をかけながらも乗り越えてきたのでしょう。



千部供養塔

市への貢献に対する感謝状を贈呈しました

市政の発展、市民福祉の増進に寄与した9組の個人、団体に対して感謝状を贈呈しました。

氏名・団体名	概要	氏名・団体名	概要
本多一助	御巢鷹山慰霊登山用のつえを多年にわたり寄贈	藤岡市獺友会	CSF感染拡大防止のため防疫措置の実施に尽力
あそびの学校 校長 山崎茂	あそびの学校を開設し子どもの居場所づくりに貢献	藤岡土器・埴輪友の会	笑う埴輪などの複製埴輪を寄贈
鬼石獺友会	CSF感染拡大防止のため防疫措置の実施に尽力	日野ホテルの会	多年にわたり日野地区の振興に尽力
かがやき食事会 代表 大林輝代	子ども食堂を開設し子どもの居場所づくりに貢献	藤岡まち映画製作委員会	市民参加型映画「コウとチョウゴロウの夏」の製作
群馬県立藤岡北高等学校	市と東京都中央区の都市間交流に花の植栽で参画	※前列左から・敬称略	

